履修モデル（文学部 人文社会学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	文学部・人文社会学科	対象入学年度	2025年度入学生
ディプロマ・ポリシー	文学部人文社会学科社会学コースでは、教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および専攻別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位(学士(社会学))を授与します。「卒業論文」の作成は卒業のための必須要件であり、自分自身の問題関心にに基づきテーマを決め、先行研究を調べた上、文献研究や社会調査を実施し得られたデータの解釈・分析を行い、自分なりの考察と結論をまとめます。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで評価します。 これらを通じて社会学コースでは、以下の能力を身につけることを教育目標と定めます。 (1)社会学に関わる専門的知識を有し、必要に応じて運用できる能力 (2)社会調査のリテラシーを身につけ、実証的調査を行う能力 (3)理論的に思考する能力 (4)知識や価値を批判的に理解し反省する能力 (5)多様性を理解し、他者に対して寛容な態度をもつ能力 (6)他者とコミュニケーションし協働する能力 (7)社会の課題に取り組み、社会を構想し提言する能力		
カリキュラム・ポリシー	文学部人文社会学科社会学コースでは、教育研究上の目的及び学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)で示す人材の育成を目指しています。上記の目標を達成するために、さまざまな社会学理論を学び、社会調査を通して社会現象や社会問題を客観的に理解し、社会の課題を解決するための方法や方策を探究する能力を修得することを目指します。そのために、以下の方針に沿ってカリキュラムを構成しています。 (1)コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため、「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「スポーツ・健康」の分野による共通教養科目を設けています。 (2)1年次生の専門教育科目では、「文学部総合研究」「人文社会学科基礎演習」「入門講義」「入門演習」を通じて、人文・社会科学の基礎に触れます。 (3)社会学理論や基礎的知識を身につけるため、家族、ジェンダー、地域社会、労働、福祉、教育、階層・階級、グローバル化とエスニシティ、文化、メディア・コミュニケーション、政治、差別や共生などの各領域の専門科目を設けています。 (4)社会調査士資格取得が可能なカリキュラムを用意し、社会調査についての諸科目を通じて社会調査能力を身につけます。そして3年次に全員が履修する「社会調査実習」を通じて、実証的調査を行う能力、グループで協働する能力とコミットメント、多角的な情報リテラシーを身につけます。また調査報告書の発表と調査報告書の執筆を通して、論文や報告書を書く能力、コミュニケーションと協働による成果のまとめを行う能力を身につけます。 (5)3、4年次に少人数による必修科目「社会学演習」と4年次の「卒業論文」の執筆を通じて、総合的な能力を身につけます。 講義・演習・実習等の授業形態と、少人数教育・アクティブラーニング・PBLなどの多様な教育方法を組み合わせることで、学術分野の特徴を活かした教育課程の展開と自発的な学修の促進を図ります。特に、社会調査実習等においてフィールドワークを実施し、社会の現場に触れ、現場の人々とのコミュニケーションを行うことで、自発的な学修の内発的動機付けを促します。		

履修モデル	コース	社会学コース 社会学専攻
養成する人材像	社会調査を通して社会現象や社会問題を客観的に理解し、具体的な社会生活の課題を解決するための方法や方策を探究する能力を修得することによって、公正で誰もが生きやすい社会を目指して、各方面で参画することのできる人材を育成します。	

	1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
	第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教養科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Practical English I	1	Practical English II	1								8
		Reading I	1	TOEIC	1	Reading II	1	Reading III	1								
		入門中国語 I	1	入門中国語 II	1	応用中国語 I	1	応用中国語 II	1								
		基礎中国語 I	1	基礎中国語 II	1												
共通教養科目	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野から2単位以上、自然・社会・人文分野から4単位以上、総合分野含めたすべてを合わせて28単位以上														28	
		スポーツ・健康分野	スポーツ・健康演習	2													
専門教育科目	学部共通科目	文学部総合研究	2											卒業論文		8	
		入門講義(社会学)	2	入門演習(社会学)	2												14
	基幹科目	人文社会学科基礎演習	2			社会学概論	2	社会調査法Ⅱ	2	社会調査実習 社会学フィールド実習		4					26
					社会調査入門	2	質的調査法など	2		2	精神分析学など	2					
					社会調査法Ⅰ	2	労働社会学など	2	都市社会学など	2	共生社会学など	2					
	演習科目				地域社会学など	2			社会学演習Ⅰ	2	社会学演習Ⅱ	2	社会学演習Ⅲ	2	社会学演習Ⅳ	2	8
		展開科目				現代社会学など	2	カルチュラル・スタディーズ(文化研究)など	2	教育社会学など	2	市民参加論など	2				
	環境社会学など		2														
関連科目																-	
学部共通科目・基幹科目・演習科目・展開科目・関連科目・人文社会学科他コース科目・他学科科目					社会教育経営論Ⅰなど	2	生涯教育支援論Ⅰなど	2									8
					日本民俗学など	2	応用倫理学概論など	2									
自由選択	共通教養科目・専門教育科目	共通教育科目および専門教育科目 18単位以上を1～3年の内で														18	
合計		-		-		-		-		-		-		-		-	124

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
 (1)外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2カ国語14単位
 (2)数理・情報2単位、自然・社会・人文分野各4単位を含め、数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
 (3)スポーツ・健康分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計62単位以上を修得しなければならない。
 (1)学部共通科目14単位
 (2)基幹科目26単位
 (3)演習科目8単位
 (4)展開科目6単位
 (5)関連科目
 (6)学部共通科目・基幹科目・演習科目・展開科目・関連科目・人文社会学科他コース科目・他学科科目から8単位
 3 上記のほか、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。